

第40回老人クラブ連合会

スポーツ大会



9月3日、スポーツセンターで、老人クラブ連合会（中村克夫会長）が主催する、スポーツ大会が開かれ、約130名が参加しました。選手たちは、紅白のチームに分かれ、玉送り競争や風船運びリレー、玉入れなど、10種目で競い合いました。参加者は、それぞれの体調に合わせて競技に参加し、心地よい汗をかいていました。

新冠中学校吹奏楽部 全道大会での演奏終える



9月5日、新冠中学校吹奏楽部は、札幌コンサートホールキタラで開かれた「第59回北海道吹奏楽コンクール中学校C編成の部」に出場し、堂々とした演奏を披露しました。部創設以来初となる全道大会の出場を果たした部員たちは、夏休みを返上して練習を続け、コンクール当日は、力強い演奏を披露し、会場から大きな拍手を受けていました。

特別養護老人ホーム恵寿荘 平成26年度敬老会



9月6日、特別養護老人ホーム恵寿荘で敬老会が開かれ、白寿3名、米寿5名、喜寿1名の計9名が人生の節目を迎えられました。会では、家族など約60名が見守る中、小竹町長や関係者が記念品を贈呈し、また、余興では、新冠カピリフラールによるフラダンスが披露され、入所者のみなさんの長寿と健康を祝いました。

東泊津 今野ミナさん 100歳おめでとうございます



9月17日、字東泊津の今野ミナさんが、12月1日に100歳を迎えることから長寿のお祝いとして、内閣総理大臣から祝状と銀杯、新冠町から、長寿祝い金が贈呈されました。今野さんは、岩手県で生まれ、20歳で結婚して新冠に移り住みました。畑作や酪農、軽種馬などの仕事に従事され、4男4女に恵まれました。

室蘭工業大学実習生受入

農家に学ぶ農業実習



8月26日から10日間の日程で、室蘭工業大学の学生9名が町内の農家に宿泊し、農業体験実習をしました。この事業は、新冠町勤労青少年育成会（鎌田一博会長）が中心となり受け入れをしており、滞在期間中は、水菜の種まきやアスパラやじゃが芋の収穫体験などを行いました。鎌田さんは「この受入事業は、学生に農業を学んで欲しいのではなく、農業をしている人たちを知り、人のつながりを感じて欲しいと思います。また、現在、町内には5つの受入農家がありますが、今後受入農家も増えていくと嬉しいですね。」と話してくれました。

ま ち の

話 題

あ れ こ れ

にいかつぶ観光協会

オータムフェスト初出店

9月25・28日までの4日間、札幌市大通公園で開かれた食のイベント「さつぽろオータムフェスト2014」に、にいかつぶ観光協会が初めて出店し「煮つぶやき」「スイートポテト」「モッツアレラチーズ」「ピーマンようかん」などを販売しました。中でも特に人気があったのは、ごまつぶを日高昆布と醤油で煮付け、さらさら、会場で鉄板で焼いて提供した「煮つぶやき」で、連日、完売する人気となりました。



新冠町からは他にも、字東町「喜一郎」のラーメンや、トンネルワインなどの店がそれぞれ出店しており、新冠町の味をPRしていました。

朝日小学校生活体験学習

「牛の学校」で牧場体験



9月17日、朝日小学校2年生16名が、字明和の清水ファームを訪れ、牛や牧場の仕事について学習しました。この体験学習では、講師の清水秀人さんと妻の香理さんから説明を受け、仔牛にミルクをあげたり、ミルクを手でしぼる体験などを行いました。児童たちは、初めての体験に緊張しながらも、牛との触れ合いを楽しんでいました。

新冠小学校・朝日小学校 フッ化物洗口始まる



9月から、新冠小学校と朝日小学校の1・2年生を対象にフッ化物洗口の取り組みが始まりました。この取り組みは、道内の子どもは虫歯の本数が多いという調査結果を受け、町教育委員会が進めているもので、事前に保護者説明会を実施し、希望する児童91名にフッ化物洗口を実施しています。

新冠ほくと園 第9回ふれあいフェスタ2014



9月21日、今年で創立20周年を迎えた新冠ほくと園で、第9回ふれあいフェスタ2014が開かれ、関係者など約700名が集まりました。会場には、節婦自治会のほか約20店の出店や赤い羽根共同募金ブースが並び、また、ステージでは、新冠中学校吹奏楽部の演奏や太鼓の演奏、利用者の弁論発表などが行われ、賑わいをみせていました。

将来の仕事について考えよう 静内高校生インターンシップ



9月25・26日の2日間、静内高校2年生12名が、認定こども園ド・レミ、恵寿荘、レ・コード館図書プラザや役場でインターンシップ（就業体験実習）を行いました。こども園には、4名の実習生が参加し、園児と長縄で遊んだり、積み木やまごことなどをしながら、保育士という仕事の楽しさや難しさについて実習を通して体験しました。